

男女共同参画を喚起する「第7回 島田市女性議会」を開催

◎市民協働課 ☎36・7121

8月1日、「島田市女性議会」がブラザおおるりで行われました。女性議会は、毎年7月30日の「島田市男女共同参画の日」に合わせて、女性の市政に対する関心を喚起するために実施。7回目となる今回は、より参加・傍聴しやすくするため、会場や開催日を変更し、当日の様子はインターネットで生配信されました。

登壇したのは、高校生を含む市内在住または在勤の女性3人。議会の一般質問の手順に沿って進められ、防災や新型コロナウイルス感染症対策など、それぞれの立場から出された幅広い意見に対して、市長や幹部

職員が答弁しました。

島田工業高校3年生の鈴木莉奈さんは「高校生と高齢者が交流し、災害について学ぶ場があるといい」と述べ、災害時の高齢者への支援や市の取り組みなどについて質問しました。

【質問内容の一部を紹介します】
◎災害時における高齢者への支援や取り組みについて

◎医療機器を必要とする寝たきりの要支援者避難について

◎新型コロナウイルス感染症下に起きた在宅介護に必要となる医療品不足問題について

◎市内のコミュニティの広がり
◎高齢者の健康づくり・生きがいづくり



市政への提案や意見を投げかける女性議員



女性議員の皆さん(中央3人)

犯罪被害者などを支援する連携協定の締結

◎生活安心課 ☎36・7144

市は7月30日、遺族見舞金や重傷病見舞金の支給、総合対応窓口の設置などを定めた「島田市犯罪被害者等支援条例」の制定に伴い、被害者支援を円滑に進めていくため、島田警察署および認定NPO法人静岡犯罪被害者支援センターと、犯罪被害者等支援に関する連携協定を締結しました。

同センターの白井孝一理事長は「これを機に、より一層顔の見える協力関係を築いていきたい」とあいさつしました。



協定を交わした3者(左から白井理事長、市長、大村署長)

世界の恒久平和を願う平和祈念式典を開催

◎市民協働課 ☎36・7197

終戦記念日の8月15日、プラザおおるりで行われ、戦争で亡くなった全ての人々を追悼するとともに、世界の恒久平和を願いました。続く第2部では、島田商業高校の生徒たちが制作した「平和のつばさ」を発表。市内小学6年生に平和への思いをつづらせた羽を一枚ずつ貼り重ね、完成させました。多くの見学者が、展示された翼に、平和への思いをはせていました。

式典では、黙祷や献花、平和都市宣言の朗読などが行われ、戦争で亡くなった全ての人々を追悼するとともに、世界の恒久平和を願いました。続く第2部では、島田商業高校の生徒たちが制作した「平和のつばさ」を発表。市内小学6年生に平和への思いをつづらせた羽を一枚ずつ貼り重ね、完成させました。多くの見学者が、展示された翼に、平和への思いをはせていました。



制作した「平和のつばさ」を見つめる島田商業高校の生徒

島田市消防団「市役所分団」を新たに発足

☎ 危機管理課 36-7212

9月1日、市は「島田市消防団市役所分団」の発足式を行いました。式では、藤原達郎島田市消防団長による辞令交付の後、団員による「水出し訓練」が披露されました。

同分団は消防団OBの職員27人で構成。近年の団員の減少や、サラリーマン化による平日昼間の火災対応などの人員不足を解消し、初動対応の充実を図ることを目的に結成しました。鈴木彰規分団長は、「市民の役に立つことができるよう、精進してい

きたい」と抱負を述べました。



代表して辞令交付を受ける鈴木分団長（中央）

島田市医師会の協力のもとPCR検査場を開設

☎ 健康づくり課 34-3282

市では、新型コロナウイルスの感染の有無を調べるPCR検査場「地域外来・検査センター」を8月26日に開設しました。

同センターは、島田市医師会の医師が当番制で対応。ドライブスルー方式で、車に乗ったままの患者の鼻や唾液から、検体を採取します。事前登録した市内診療所からの紹介による予約制で、週3回2時間ずつの運用を想定。1日最大10件の検査が可能。診療所では、相談・受診が電話でも受け付けています。



開設前に行われた研修会でのデモンストレーション

市内各地でコロナ禍を意識した防災訓練を実施

☎ 危機管理課 36-7320

市内の各地域で防災訓練が行われた8月30日、市はプラザおおりを本部とした、災害対策本部参集訓練および運営訓練を実施しました。

サイレン吹鳴後、市長を始め各職員が参集。本部での情報の流れを確認し、緊急時の対応を訓練しました。その後、島田第二小学校へ移動し「コロナ禍における避難所運営訓練」を実施。会場では、各自自主防災会からの参加者とともに、新型コロナウイルス感染症対策を施した避難所運営状況を確認しました。



災害に備えた対策を確認し合う職員

こども館にサーモグラフィーカメラを設置

☎ 子育て応援課 36-7159

8月26日、市は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として「サーモグラフィーカメラ」をこども館の入り口に設置しました。

サーモグラフィーカメラは、入館前の検温に使用。ディスプレイに体温が自動表示され、マスクを着けたままでも、複数人を同時に検知することができます。これによって、入館時の待ち時間の短縮につながり、より一層安心して利用してもらえるようになりました。



カメラの動作を確認するスタッフ